

浮遊真菌分析結果速報

年 月 日

御中

環境リサーチ株式会社
〒192-0054
東京都八王子市小門町104
TEL042-627-2810(代)
FAX042-627-2820
計量証明事業(濃度)第888号
作業環境測定機関13-64

1. 調査概要

- 1) 調査件名 :
2) 調査日 :
3) 分析期間 :
4) 培養温度 : 25°C
5) 使用培地 : PDA培地 及び DG18培地
6) 使用恒温器 : アズワン製クールインキュベーター 【型名】PCI-101

2. 計数分析結果

試料 No.	試料名	採気量 (m ³)	培養 開始日	PDA培地		DG18培地	
				計数 実施日	真菌濃度 (cfu ^{※1} /m ³)	計数 実施日	真菌濃度 (cfu ^{※1} /m ³)
1	A	0.1	11月15日	11月22日	270	11月22日	290
2	B	0.1	11月15日	11月22日	(1130)	11月22日	(1390)

※1 cfuとはColony Forming Unit(集落形成単位)の略であり、集落数(カビ数)を示す。

<計数結果について>

- * カビが検出されなかったサンプルは真菌濃度を<10と表記する。
- * 気中濃度が1,000 cfu/m³を超える場合は、採取時に孢子の重なりが発生し過小評価となってしまうため、実測値(カッコ内のデータ)は参考値とする。

<培地について>

PDA培地は湿度の高いところを好むカビ、DG18培地は湿度の低いところを好むカビの培養に適している。

【参考基準値】

- ・日本建築学会環境基準(AIJES-A0002-2013)
室内浮遊真菌濃度 維持管理規準(住宅の真菌)
1,000 cfu/m³(1.0 cfu/L) 以下